

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌



西播磨

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2016 MARCH No. 32

夢会議特集号



▲ 夢会議 パネルディスカッション

■ 西播磨地域夢会議

概要	1
各市町発表	1～4
夢会議総括	5

■ 森川海チームレポート

■ 第7期ビジョン委員会チーム成果物 PR

■ 第7期ビジョン委員会総括

■ 出る杭大会 PR

■ 編集後記



◆西播磨地域に若者が定住し、
夢をもって暮らしていく為には！

西播磨ビジョン委員会
委員長 松村 晋策

どのようなすれば西播磨地域に若者が定着し、夢をもって元気に暮らしていただけるのか、その為には何をすれば良いのか「どないしょー西播磨」を皆さんと考える企画でした。1部はワークショップ形式で、市・町単位の若者の定着施策の説明を聞き、参加者より気づいた点、日頃考えていることなど、10年先、20年先を見据えて「良いところ」「変えていくべきところ」「強化するところ」「心配なところ」など幅広い年代の方々の参加により、2部のパネルディスカッションでは、若い人の考えや地元への愛着をしっかりと持ちながら未来志向の意見も聞くことができました。出された意見は、市・町の戦略課題として補強していただくことを祈念し、元氣な西播磨地域になっていく手ごたえを確信する場になりました。

また、相生市立あおば幼稚園・相生幼稚園の園児の皆様、保護者の皆様には「論語の素読」にご協力いただき感謝申し上げます。

西播磨地域夢会議

開催されました！

日時：平成 27 年 12 月 19 日

場所：相生市総合福祉会館

テーマ「どないしょー西播磨」

プログラム

【第1部】

オープニング

■井戸 敏三 県知事あいさつ

ワークショップ

■各市町の地域創生政策、特に若者の定着に向けての議論

【第2部】

■アトラクション

「論語の素読」

■パネルディスカッション

①パネリスト発表

②質疑応答

■コメント

■閉会あいさつ



ワークショップでの主な意見

現在の施策で継続してほしいこと

- ・自然環境を守ることや、子育て支援政策の充実強化の取り組みは継続してほしい

今後取り組んで欲しいこと

- ・留学生を受け入れるなど国際交流で教育にもっと力を入れてほしい
- ・新幹線利用ができる街としてもっとPRしたり近隣との連携を図ったり、駅前をもっと賑わいのある施設や活用を考えてほしい
- ・安心して出産や子育てができる医療施設（総合病院など）の充実を図ってほしい

市長や参事の出席で市の将来像を聞く機会に恵まれてよかった。若い人たちは将来を見据え積極的な意見が多くあり、高齢者の方からもバス便の問題、コミュニケーションの場づくりや、働く場所が少ないなど若者が定着するための様々な意見があり有意義な会議でした。



相生市



ど根性大根 大ちゃん

委員長

松村 晋策

ワークショップでの主な意見

良いところ

- ・地場産業（素麺、醤油、皮革）が盛ん
- ・ほどよい田舎である
- ・揖保川の河川敷を中心に祭が数々ある
- ・自然がある

心配なところ

- ・自分の夢をかなえたい企業がない
- ・市内にどのような企業があるか知らない
- ・商業施設等の若者の集まる処がない
- ・電車などの公共交通機関の利便性が悪い
- ・市の範囲が広く、まとまりに欠ける
- ・若者の集まるお店が少ない
- ・姫新線がなくなる



ワークショップでの若者の意見でたつの市は、就職先が少ない。また、若者の集まるお店も少ない。活性化を図るなら、新規企業の積極的な誘致。また、新たな商業施設の集積を図る必要性がある。その商業施設においては、地域資源（自然環境、歴史文化等）の活用が必要不可欠である。

中学、高校のトライやる、インターンシップ等の社会体験によって得られる、地域にどのような会社が存在するのか、さらに理解を深める取り組みに期待します。また、より多くの地元企業への理解とつながりを持つためにも、小学校の社会学習を活用し、保護者の仕事、地元の企業の理解を深める取り組みが特に必要なのではないでしょうか。



たつの市



森・川・海の学習と再生チーム
リーダー 成影 正道

ワークショップでの主な意見

心配なところ

- ・交通の便の悪さ、職場の少なさ、娯楽施設の少なさ

今後取り組んでほしいところ

- ・市の中心部だけでなく、郊外の人口が減少している地区でも、会合を開くなど、地域間格差をなるべくなくし、「地域での居場所づくり」に努める
- ・「職・住・遊」の充実



赤穂のワークショップは高校生からは交通の利便性がよくなれば人の往来、交流といった面でまちの活性化につながるという意見をもらい、全体的には交通の便の悪さ、職場の少なさ、娯楽施設の少なさという意見が出て、それら「職・住・遊」が充実すればよいということや、市の郊外の過疎化地区でも会合を開くなどして地域での居場所づくりをすることが大事だということでもとまりました。若者も年配者もそれぞれルールに沿って一人一人思ったことを発言できていたので参加者の満足度も高かったと感じます。このような世代を超えた意見交換の場を官民が協力して作っていき、風通しがよい明るい地域になっていけばと感じました。

赤穂市



広報委員
中村 友法

ワークショップでの主な意見

良いところ

- ・自然がいっぱい
- ・空気がきれい
- ・スキー場がある
- ・地域の人が優しい

将来的に良くしたいところ

- ・観光人口を増やす
- ・買い物や遊べる場所を作って楽しい地域にする
- ・資格を活かせる職場や仕事があるなら、地元に残りたい
- ・優秀な人材が帰って来られる職場を作る
- ・穴栗市の自慢の自然を残して欲しい
- ・国際化をめざす



行政の地域創生担当職員から「若者の定着に向けた取組みについて」説明を受けた後、ワークショップを開催。

また、現在および将来に向けて否定的な意見は、交通手段や雇用の問題などに集中し、生活をしていくのに必要な環境整備を望む声が多くありました。

高校生からは、誠実な意見が出され、ふるさとへの愛着を思わせるものもありました。

こうした貴重な意見や提案を広く公開し、地域課題として、今後のビジョン活動にも活かせれば、夢会議を開催した意義があるように感じます。

穴栗市



しーたん

広報委員

春名 千代

ワークショップでの主な意見

良いところ

- ・交通の利便性に恵まれ、通勤通学に便利
- ・衣食住に充実感があり住みやすい町
- ・コンパクトで歴史文化に恵まれた町
- ・斑鳩寺を中心に歴史の風薫る町
- ・人口減少時代に、県下で人口の増えた町

心配なところ、今後取り組んでほしいところ

- ・自分が働きたいと思える所がない
- ・市内にどのような企業があるか知らない
- ・市街地と農村部の格差がある
- ・図書館に若者の意見を取り入れた蔵書を

太子町は、斑鳩寺を中心に歴史文化の風薫る学都太子町としてさらなる充実を図る必要がある。さらに運動公園を核としたスポーツ都市としての取り組みを進め、文武両道の町を推進することを今後の取り組みとし、子育て世代への魅力の発信に期待します。

また、JR網干駅を核にした、姫路市、神戸市等の通勤圏を主としたベットタウンとして、さらに都市計画基盤を整備することで、より住みたくなる町の充実を図る必要がある。

高校生から「ゲームセンター」「遊ぶ場所」の確保が提案された。普段よく出る意見とは異なり、大人とは違った感覚の意見として貴重な取り扱いたい。



太子町



たいしくん・あすか姫

広報委員

赤木 和雄

上郡町



円心くん・イトちゃん

広報委員

三輪 佳世

ワークショップでの主な意見

良いところ

- ・自然が豊か
- ・人材が豊富で人情が厚い
- ・先端科学の施設 SPring-8がある

心配なところ

- ・交通の便が悪い
- ・若者の働く場がない
- ・空家が多い



上郡町は町長も同席され、「若者の定着について」をテーマに議論しました。
企業の誘致を求める意見が多かったが、実現可能な点から農業や福祉などの行政施策を充実して若者にアピールしてはどうかという意見や、豊かな自然資源や地形を生かしてバス釣り大会、サバイバルゲーム等してはどうか、SNS等を利用してまず上郡町の知名度を上げてはどうかといったような提案がありました。

ワークショップでの主な意見

良いところ

- ・田・畑・山・川・自然が豊か
- ・城跡、宿場町と歴史文化も豊富
- ・智頭線、姫新線が通っている

心配なところ

- ・少子高齢化により気力の低下
- ・移住者と住民の考え方の不一致
- ・農業、林業の後継者不足



佐用町からの参加が少なく、若者の意見が聞けなかったのが残念です。公民館や空き家を利用して、農家民宿・カフェなどをインターネット配信により、都会の若者と地元若者の交流を活発に行えば縁結びにつながるのではとの意見がありました。
他市町からの参加者より、佐用町の城の歴史・後醍醐天皇の弓の木・宿場町平福の景観・県下一位の光福寺のイトザクラなどの歴史・文化・景観の素晴らしさの発言があり、これらを活かしての若者の起業化が図れないかとの提案がありました。農業・林業・他の分野においても起業家を生み出すシステムや定住に向けての教育が必要との意見の一致を見ました。

佐用町



おさよん

広報委員

伊藤 一郎

夢会議 論語

健やか子ども応援チーム

リーダー

竹添 和彦

平成27年12月19日、夢会議に健やか子ども応援チームが園児ともども、アトラクションに出演させて頂き、又、井戸知事の前で論語の素読が出来ました事、光栄に思っています。有難うございました。

相生幼稚園、あおば幼稚園、両園長の感想

相生幼稚園 三浦久美子園長

「みんなで論語を読む、音の響きやリズムが心地よく聞きました。子ども達もとてもよい経験になりました。感謝致します」

あおば幼稚園 山本智子園長

「論語を通じて講師の先生と子ども達、そして会場に集うすべての方々の創り出す空気感に感動させていただきました。有難うございました」

普段のチーム活動では、西播磨管内の幼稚園・保育園において、論語の素読、絵本の読み聞かせ、茶道教室を通して、子ども達の思いやり、精神力などの情操を育む活動を継続したいと考えております。



夢会議まとめ



平成27年12月19日 相生市総合福祉会館で「西播磨地域夢会議」が約210名の参加により開催されました。

今回のテーマは「どないしょ〜西播磨」。

7つの市町に分かれたワークショップでは各市町の地域創生戦略概略の人口施策を中心に職員の方から説明を受けた後、限られた時間の中ではありましたが、各地域の現在と未来について、各首長、市町職員から地元高校生、大学生まで幅広い世代と、様々な立場からの意見を交わすことができました。

第2部全体でのパネルディスカッションは、兵庫大学教授 田端先生にコーディネーターとして参加いただき、各グループ1部で出た意見を発表し、全体での意見交換を行いました。

開会式での井戸知事は「地域の多様な資源を最大限に活用し、西播磨らしさ、兵庫らしさを作り、活気あふれる地域づくりを目指していく」と仰いましたが、今回の夢会議はビジョン委員会を中心に皆で西播磨の将来を考える良い機会となりました。

第2部オープニングでは「健やか子ども応援チーム」の活動による「論語教室」を相生市立相生幼稚園、あおば幼稚園園児らに実践発表していただきました。

終了後には、相生市「小河ゆず栽培組合加工部」の手作り「ゆず大福」「ゆず蒸しパン」の試食もあり、元気一杯に論語を誦んじる園児の姿と、ゆずの香りのスイーツに会場は和やかに幕を閉じました。

第7期西播磨地域ビジョン委員会 副委員長 広報部長

香山 美穂

11月8日、曇り日に西播磨地域ビジョン委員会の森・川・海の学習と再生チーム、生活安全推進チームが、相生湾壺根の牡蠣養殖の現場を視察しました。

二隻の船に乗って牡蠣筏に行き、クレーンで持ち上げられた牡蠣がドサッと落ちる瞬間には歓声が沸き起こりました。

港では牡蠣を炭火で焼きワイワイ言いながら播磨灘、相生湾の豊かさを感じ、森川海のつながりを再認識し、おいしくいただきました。

その後松村委員長と成影チームリーダー・田野本チームリーダーはラジオ関西の谷五郎氏から活動の取材を受け、12月5日の「谷五郎の笑って暮らそう」で放送されました。



谷五郎氏を囲んでの写真撮影



広報委員 伊藤 一郎



第7期西播磨地域ビジョン委員会 成果物まとめ！！

生活安全推進チーム

～西播磨地域の防災・減災活動の紹介～

各市町の被災地を視察し、防災・減災対策、災害記憶の伝承についてまとめています。お住まいの地域で防災対策の参考にお使いください。



西播磨食材コラボ！チーム

笑顔になる食材

～西播磨地域のこだわり食材と

生産者紹介ガイド2016～

西播磨のこだわりの「食材」や、「生産者」を紹介しています。思わず笑顔になる、地産地消・歴史継承など生産者の想いのこもった食材をご賞味ください。



森・川・海の学習と再生チーム

～森・川・海の学習と再生チーム 活動記録～

2年間の活動記録をまとめました。西播磨の自然を再確認することが出来る一冊です。

第7期西播磨地域ビジョン委員会
森・川・海の学習と再生チーム 活動記録

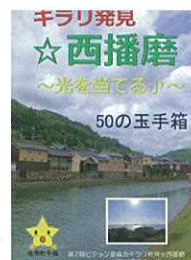


平成28年3月
西播磨地域ビジョン委員会

キラリ発見☆西播磨—光を当てる♪—チーム

～50の玉手箱～

その存在と素晴らしさが知られていない、西播磨の歴史・文化・自然・観光に光を当てた一冊です。ぜひ本誌を片手に現地を訪れてみてください。



第7期西播磨地域ビジョン委員会 まとめ

私が西播磨地域ビジョン委員になったきっかけは所属している団体からの出向でしたが、最初の会議で4つの夢を目指すという理念があることを知りました。その中で環境王国を選び、チームとして活動してきたのは西播磨各地の食材・素材を使った新レシピの開発に取り組む西播磨食材コラボ！チームでした。

チーム会議の中で、高校生対象に西播磨の食材を使ったカレー対決をする話になり、栗蔭リーダーを中心にどんどん形になり実行されていきました。

西播磨地域ビジョン委員の魅力は西播磨4市3町のために活動できることはもちろんですが、多くの人との出会いがあることが大切だと感じます。

普段は知り合う機会がない地域も年齢も違う人達が集い、一つの目標に向かって意見を出し合い活動をするという素晴らしい経験をさせていただきました。

広報委員 中村 友法



第15回 出る杭大会を開催します！！



出る杭大会は夢を持って新しい分野に挑戦し、人や地域社会を元気にしようと取り組んでいる団体、個人に活動発表の場を設け、その活動を理解し支援することで、出る杭を育て、交流し、繋がり合うことを目的とし開催しています。多くの方々のご来場お待ちしております。

日時：平成28年4月29日(金・祝) 10:00~15:00 (小雨決行)

場所：播磨科学公園都市内「光都プラザ前芝生広場」

お問い合わせ先：赤穂郡上郡町光都 2-25

西播磨県民局県民交流室県民活動支援課

TEL: 0791-58-2128



編集後記

きらきら通信32号は12月相生会場での夢会議の様子を中心とした報告を、お届けしました。会議では各地域の良いところ、悩みごと等多くの意見今後の取り組み課題等で盛り上がったようですね。今回は、健やか子ども応援チームの園児による論語の素読も発表され、会場の皆さんから多くの拍手をいただき、実り多き夢会議だったのではないのでしょうか。メンバーが替わりますけれども、また次期ビジョン委員さんに新しい発見をみつけていただきましょう。

-追伸- きらきら通信発行に多くの皆様のご協力ありがとうございました。

広報委員 上田 鷹子



連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25
【TEL】0791-58-2115 【FAX】0791-58-0523

